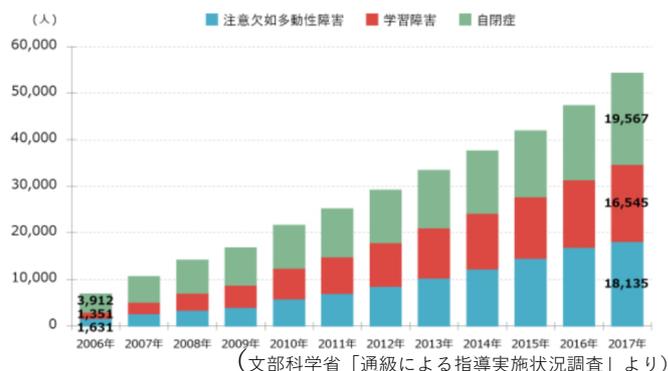


当社は、JAPICの動物実験実施施設認証を取得しています

## 自閉症様行動を示すモデル動物

現在、自閉症スペクトラム障害（ASD）の中核症状である社会性・コミュニケーション障害などに対する有効な薬物療法が確立されていません。今月号は、第9回オンラインセミナーで紹介する自閉症モデルの遺伝子因子ならびに体性感覚処理障害により誘発されるASD様の行動異常を示すモデル動物の行動及び脳内神経伝達物質の変化について紹介します。

図. 自閉症、学習障害、  
注意欠如多動性障害の  
指導実施数の推移

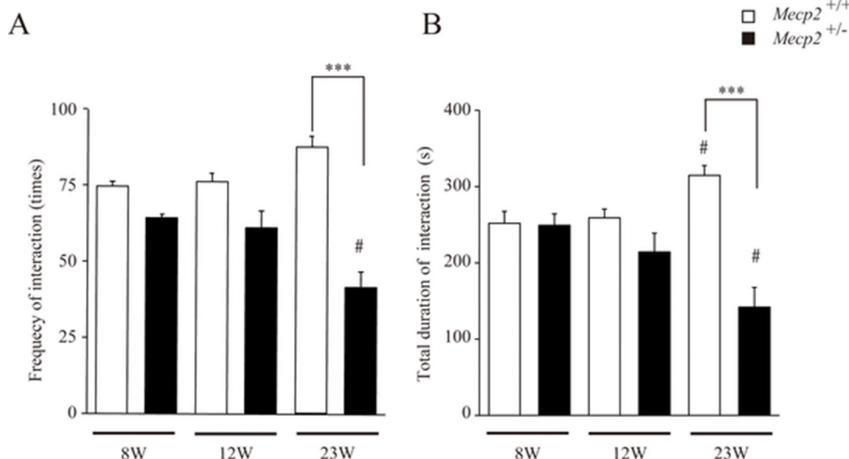


自閉症は2006年は3912人だったのに対し、2017年には1万9567人と、約5倍に増加しており、社会的関心が高まっている。

**【モデル動物】**  
 遺伝子改変ラット (MeCP2 KO・雌、供給源：SAGE Labs.、販売元：オリエンタル酵母工業株式会社)  
**【評価項目】**  
 Social interaction test、モーリス水迷路学習能、脳内神経伝達物質含量など

評価	<i>Mecp2</i> 欠損による影響
Social interaction test	社会性行動の低下
モーリス水迷路学習能	学習能の低下
脳内神経伝達物質含量	アセチルコリン含量の低下

Age-dependent alterations in social behaviors among female *Mecp2*<sup>+/-</sup> rats.



オンライン  
セミナー

1月19日(木) 16:00~17:00 / 1月20日(金) 12:00~13:00  
**自閉症スペクトラム障害様行動を示すモデル動物の行動及び脳内神経伝達物質の変化**